

ネクストプログラム ―生まれ変わる特別教育プログラム―

高橋 尚志 (大学教育基盤センター長)

本学では、特色のある取り組みとして評価頂いている特別教育プログラム「ネクストプログラム」を通じ、学部の専門教育では得られない特徴ある知識技術の場を提供してきた。現在は3つのテーマに関するプログラム、グローバル人材育成プログラム、防災士養成プログラム、人間探求（文学作品熟読）プログラムが開かれている。ここに、平成31（2019）年度より、学問分野に関するプログラムを加えることとし、第1弾として「ヒューマニティーズ（人文学）プログラム」をスタートさせる。

簡単にここに至る経緯を触れておこう。ネクストプログラム自体はそれぞれ異なった出自を持つ3つの独立した特徴的な教育プログラムを一まとめにしたもので、平成25年にスタートした。それら現行のプログラムについては、水野論文、井面・長谷川・野々村・高橋論文、および松島論文にこれまでの成果も含めて詳細に記されているので、ご確認頂きたい。

さて一方で、それぞれの独自性が強いという背景もあり、教育プログラムとしての統一性が薄いことは否めなかった。そこで、ネクストプログラムの実施運営を統括する運営会議を大学教育基盤センター内に置き、各実施部会がその傘下に収まる形にした。時を同じくして、学士課程教育全般の改革に乗り出して、ネクストプログラムもその在り方からして検討の対象となった。本学の共通教育スタンダードに照らして既存のプログラムも位置付け直し、さらに本学では学べない幅広い学問分野の学びも提供するべく改革を行うこととした。このあたりの経緯は直後の石井論文に詳しいのでご覧頂きたい。とにかく、多くのメンバーで何年もの時間をかけて検討し、その中からいくつかのアイデアが結晶化し、ヒューマニティーズ（人文学）プログラム発足へ結びついている。これは、本学が比較的応用的というかより実学的な学問分野の学部からなる大学であるが故に人文科学の学びの場が無い訳で、その分野を補強する意味合いがあることは容易に理解できるかと思う。実は我々は、もう一つ踏み込んで、人文科学が実学的な知にもう一つの知の基軸を学生に与え得ると感じている。このあたりは佐藤論文に詳しいのでお読み頂きたい。現在、本学が教育の柱と位置付けているDRI教育において、リーダーたる人材を養成するためのDRIイノベーター養成プログラムをネクストプログラムへラインナップすべく準備を進めている。こちらは西本論文が同じく本特集にあるのでご覧頂きたい。以上のように、本学の特色のある特別教育プログラムであるネクストプログラムは次なる新しい姿を見せることとなる。乞うご期待、というところである。